

株式会社テラプローブ 決算説明資料

2022年12月期

2022年12月期 業績説明

本資料では、増減率について、1,000%を超える場合や、比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合、原則として「-」と表示しています。

2022年12月期 業績サマリー

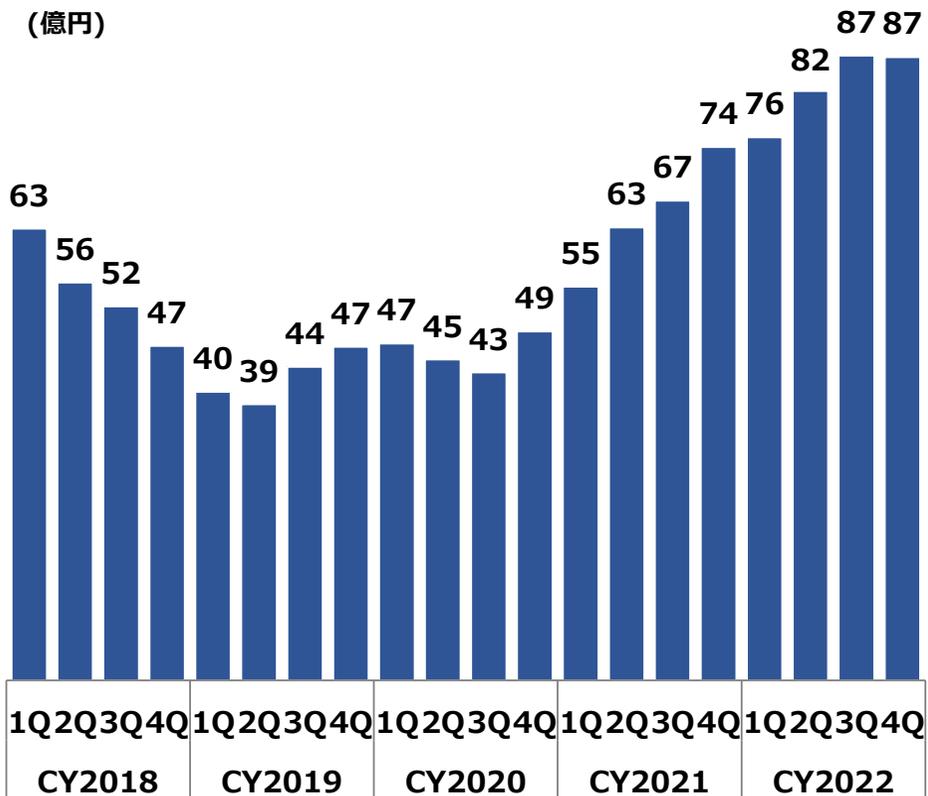
	CY2022		QoQ		(億円)			
	3Q	4Q	増減額	増減率	CY2021	CY2022	増減額	増減率
売上高	87.2	87.0	-0.2	-0%	259.4	332.1	+72.7	+28%
営業利益	17.9	20.3	+2.4	+13%	41.6	68.4	+26.8	+64%
営業利益率	20.5%	23.3%	+2.8pt		16.0%	20.6%	+4.5pt	
経常利益	20.1	19.8	-0.3	-1%	40.9	73.5	+32.6	+80%
経常利益率	23.0%	22.8%	-0.3pt		15.8%	22.1%	+6.4pt	
特別利益	3.6	2.3	-1.4	-38%	4.1	7.8	+3.7	+90%
特別損失	0.0	0.1	+0.1	-	1.0	1.0	+0.0	+0%
税金等調整前純利益	23.7	22.0	-1.8	-7%	44.0	80.3	+36.3	+83%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9.5	10.6	+1.1	+12%	17.9	31.3	+13.4	+75%
純利益率	10.9%	12.2%	+1.3pt		6.9%	9.4%	+2.5pt	
US\$	135.27	144.25			108.91	129.71		
NT\$	4.38	4.41			3.94	4.41		

- 売上高 横ばい：メモリ、フラッシュメモリコントローラ
車載向け、5G基地局向け
- 営業利益 増加：費用（電力料など）減少
- 経常利益 若干減少：為替差益等の消失
- 純利益 増加：特別利益（固定資産売却益など）の計上

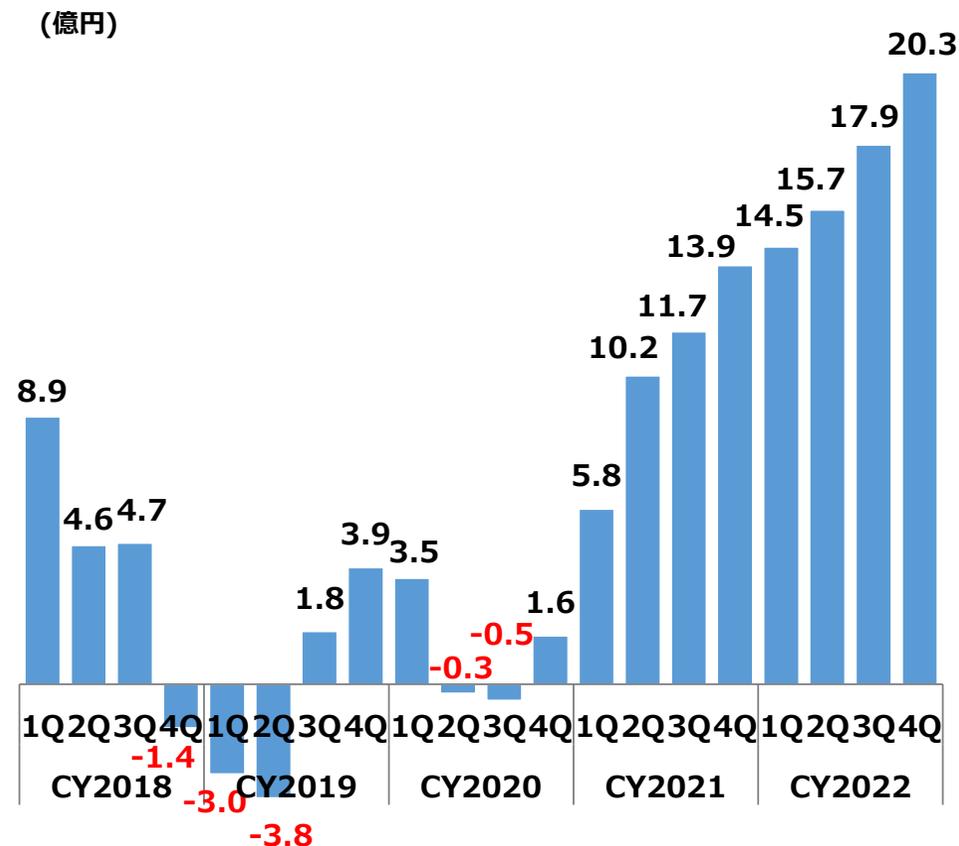
- 売上高：車載向けなどのロジック製品の受託増と
円安進行による連結換算額への影響により増加
 - 営業利益、経常利益、純利益：
売上高の増加や為替差益の計上等により増加
- ⇒ ROEも、7.3%から11.2%に上昇

▶ 連結売上高・営業利益の推移

売上高



営業利益



営業利益率

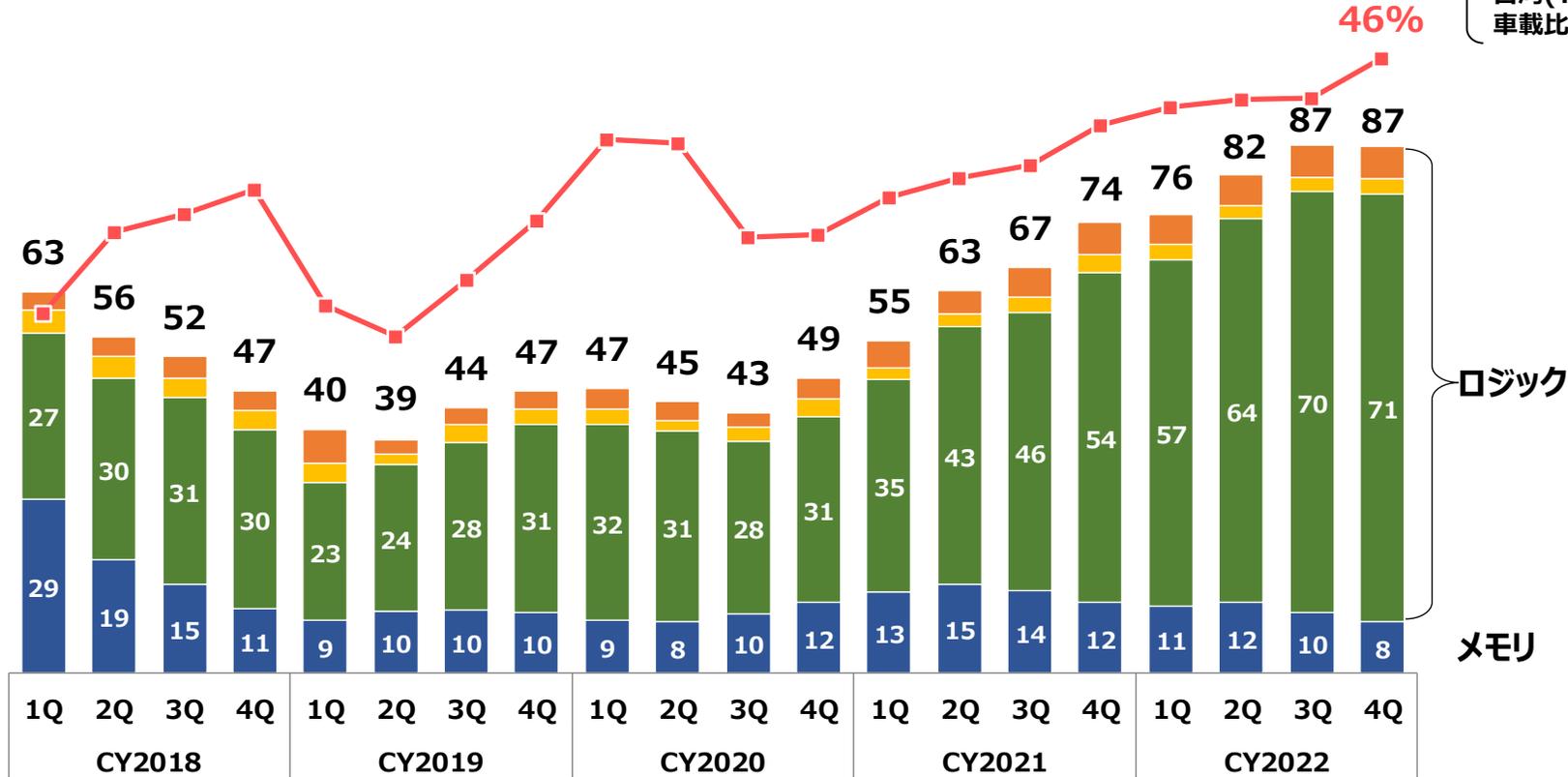
2021				2022			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
10.6%	16.2%	17.5%	18.7%	19.1%	19.1%	20.5%	23.3%

連結売上高推移 (製品別)

(億円)

■メモリ(DRAM+Flash) ■MCU・SOC ■CIS ■Analog・他 -●-車載比率

国内(TPJ※+TPA※)売上に占める
車載比率 47%
台湾(TPW※)売上に占める
車載比率 46%



2018年5月1日
マイクロン向けビジネス譲渡

車載向けロジックを
中心に増加

※TPJ : テラプローブ
※TPA : テラプローブ会津
(2022/7/1、TPJに吸収合併)
※TPW : TeraPower Technology Inc.

2022年12月期 キャッシュフロー 財政状態

(億円)

キャッシュフロー	CY2022	CY2022	QoQ		CY2021	CY2022	YoY	
	7~9月	10~12月	増減額	増減率			増減額	増減率
営業CF	54	37	-17	-32%	114	170	+56	+49%
投資CF	-36	-36	-1	-	-97	-122	-25	-
FCF	18	0	-18	-99%	18	48	+31	+173%
財務CF	1	-9	-10	-	-20	-4	+16	-

(億円)

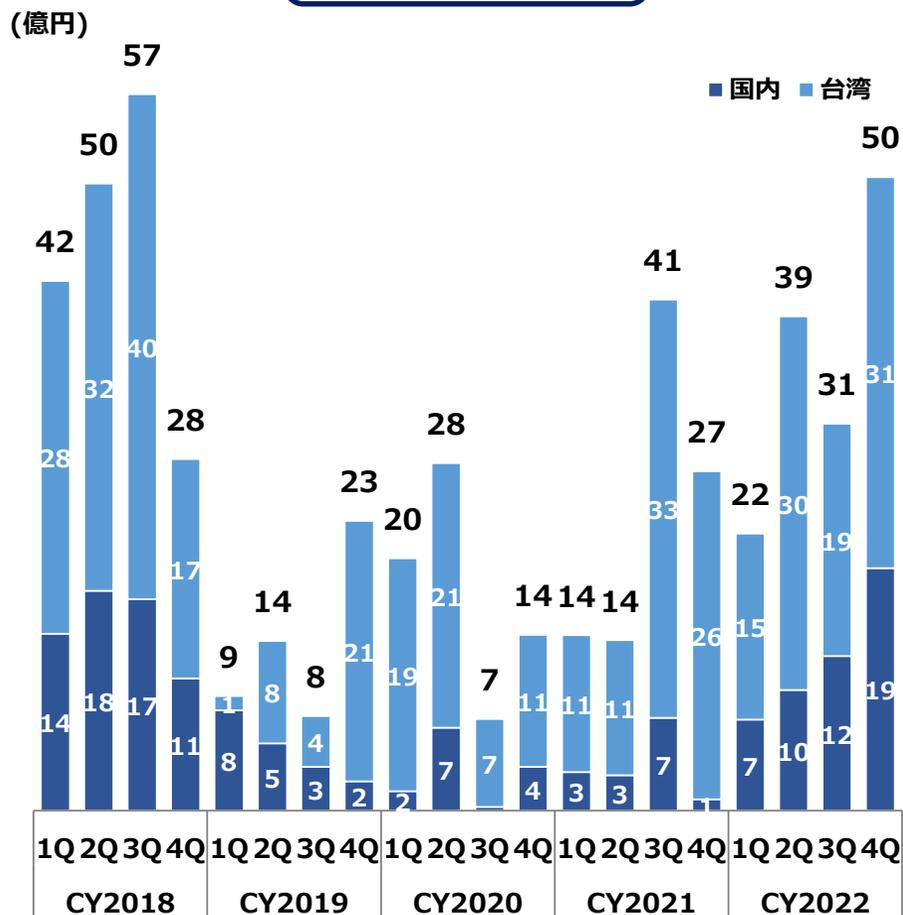
バランスシート	CY2022	CY2022	QoQ		CY2021	CY2022	YoY	
	9月	12月	増減額	増減率			12月	12月
現預金	164	157	-7	-4%	112	157	+45	+40%
有形固定資産	441	444	+3	+1%	404	444	+40	+10%
その他資産	131	122	-8	-6%	114	122	+8	+7%
総資産	735	723	-13	-2%	630	723	+93	+15%
有利子負債*	229	210	-19	-8%	195	210	+15	+8%
その他負債	87	91	+3	+4%	69	91	+21	+31%
純資産	418	422	+4	+1%	366	422	+56	+15%

*有利子負債 = 借入金 + リース債務

○ 設備投資に対応する流動性資金と財務体質を維持

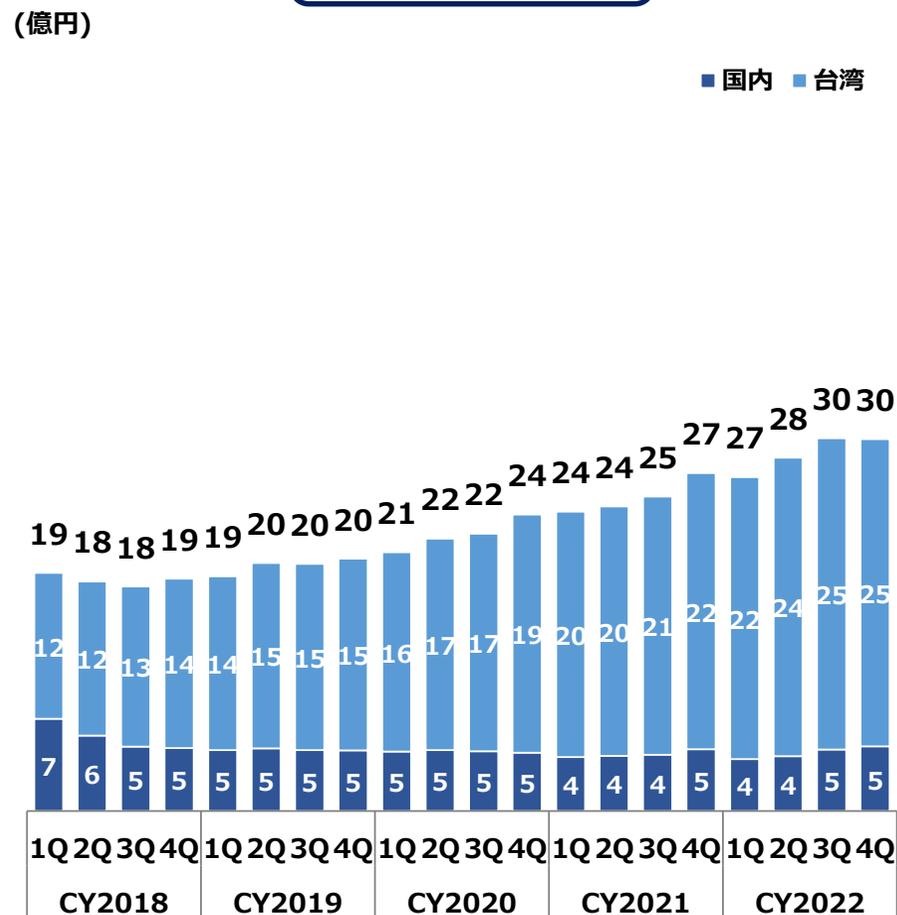
設備投資及び減価償却費

設備投資



○ 需要見込みに対応した投資継続

減価償却費



○ 償却費は横ばい

2023年12月期 上半期 業績予想

2023年12月期 第1四半期、第2四半期 業績予想

(億円)

	CY2022	CY2023	QoQ		CY2023	CY2023	QoQ	
	4Q	1Q	増減額	増減率	1Q	2Q	増減額	増減率
売上高	87.0	80.0	-7.0	-8%	80.0	85.0	+5.0	+6%
営業利益	20.3	14.5	-5.8	-29%	14.5	17.0	+2.5	+17%
営業利益率	23.3%	18.1%	-5.2pt		18.1%	20.0%	+1.9pt	
経常利益	19.8	14.5	-5.3	-27%	14.5	16.5	+2.0	+14%
経常利益率	22.8%	18.1%	-4.7pt		18.1%	19.4%	+1.3pt	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10.6	7.0	-3.6	-34%	7.0	5.5	-1.5	-21%
純利益率	12.2%	8.8%	-3.4pt		8.8%	6.5%	-2.3pt	
US\$	144.25	131.34			131.34	128.00		
NT\$	4.41	4.23			4.23	4.20		

- 売上高：減少
フラッシュメモリコントローラの減少
前四半期対比円高進行による連結換算額への影響
- 営業利益、経常利益、純利益：売上高の減少に伴い減少
- 設備売却益 約3.8億円を織り込み

- 売上高：回復
フラッシュメモリコントローラの減少は継続するも、
車載や5G基地局向け、サーバー用CPUなどの増加
- 営業利益、経常利益：売上高の増加に伴い増加
- 純利益：設備売却益の差により減少

▶ 2023年12月期 上半期 業績予想

(億円)

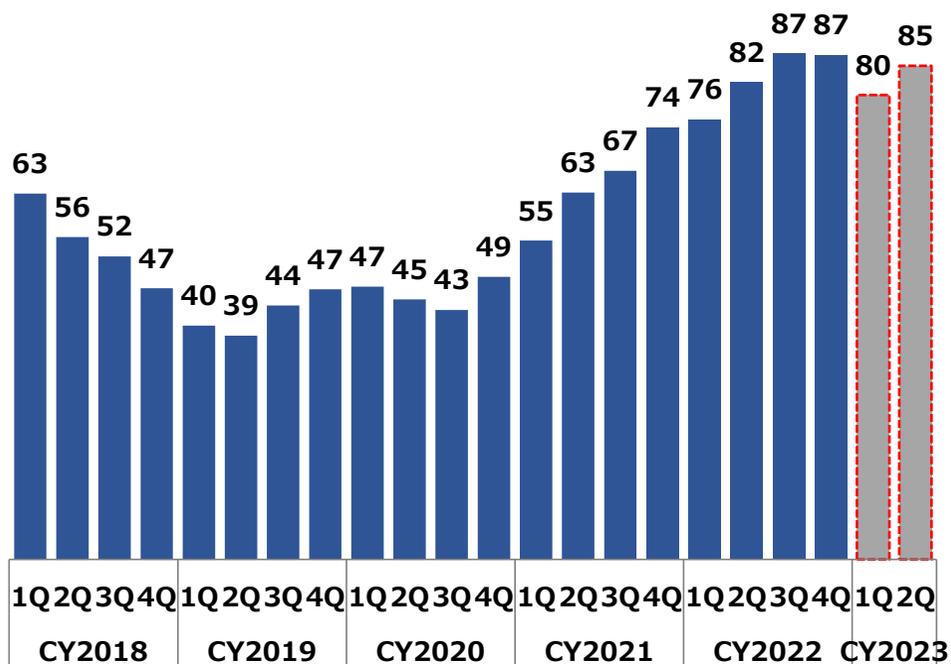
	CY2022	CY2023	YoY	
	1 H	1 H	増減額	増減率
売上高	158.0	165.0	+7.0	+4%
営業利益	30.2	31.5	+1.3	+4%
営業利益率	19.1%	19.1%	-0.0pt	
経常利益	33.5	31.0	-2.5	-8%
経常利益率	21.2%	18.8%	-2.4pt	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11.3	12.5	+1.2	+11%
純利益率	7.2%	7.6%	0.4pt	
US\$	119.47	129.64		
NT\$	4.29	4.20		

- 経常利益: 前期計上の為替差益要因がなくなることにより減少
- 純利益: 設備売却益の増加等により増加

売上高、営業利益予想

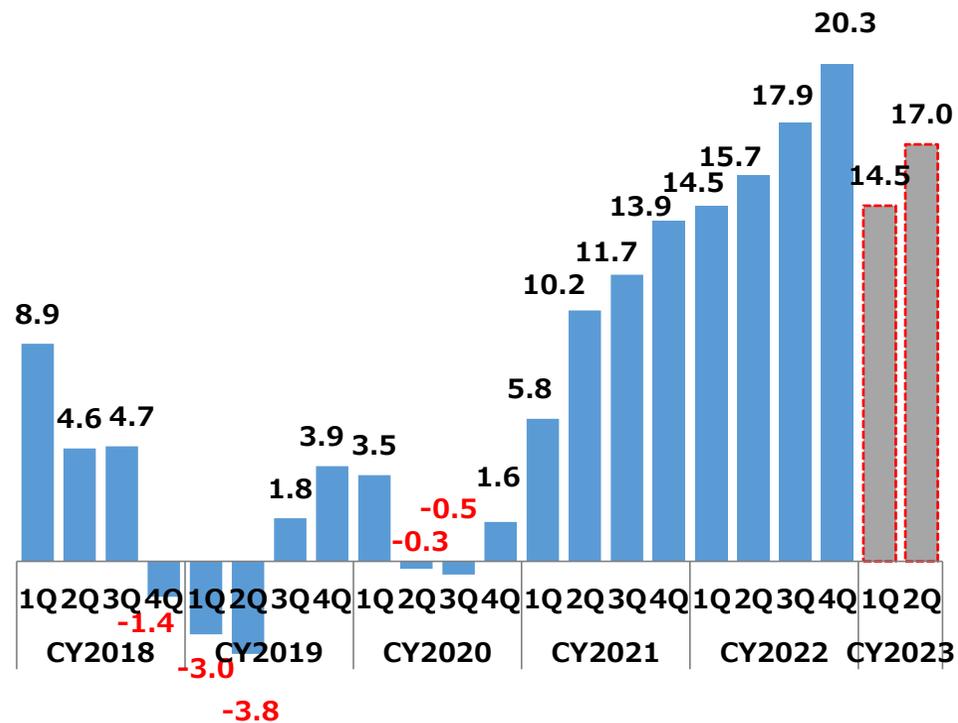
売上高

(億円)



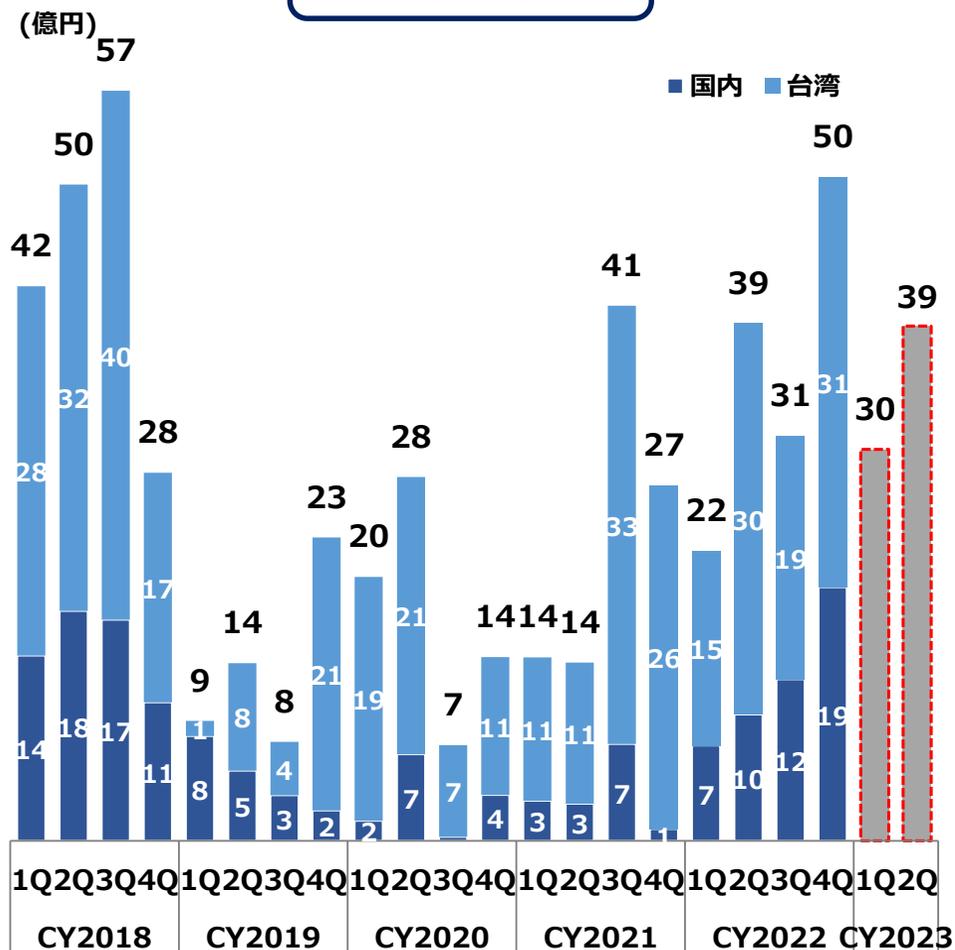
営業利益

(億円)

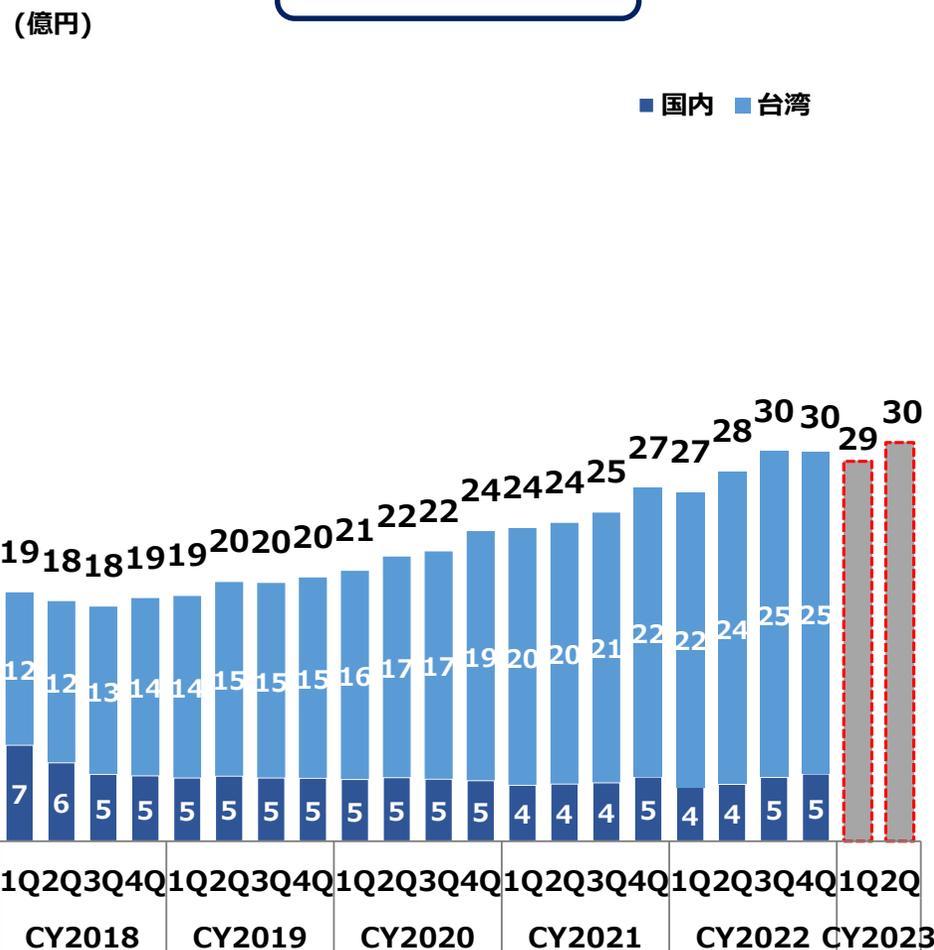


設備投資及び減価償却費

設備投資



減価償却費



○ ペースを管理しながら、中長期需要への能力準備

○ 投資継続と、償却費抑制の両立

トピックス

トピックス 1: 2022年12月期の振り返り

1. 安定的な収益構造の構築・強化

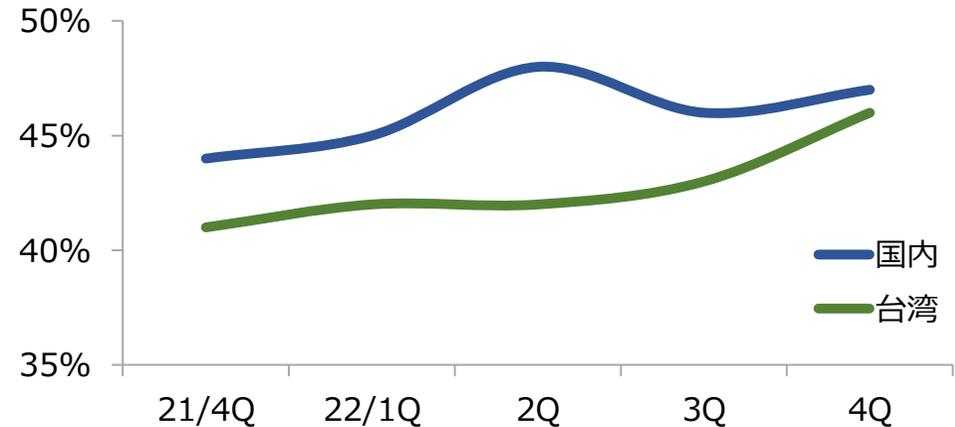
① 車載比率: 国内 50%、台湾 40%

車載、先端 両分野の
バランスの取れた受託による継続成長

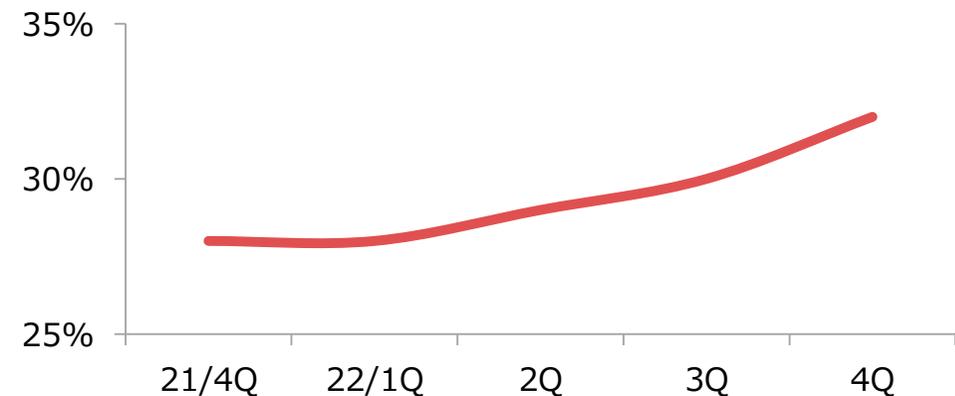
② ファイナルテストビジネスの拡大、強化

ウエハテスト中心から、
ファイナルのビジネス機会の取り込み

車載比率



FT比率 (連結)



トピックス 1: 2022年12月期の振り返り (続き)

2. ビジネスパートナーとして 主要顧客との関係深化

3. PTIグループとの連携による ターンキービジネスの推進

共同開発



6社

(2023年2月現在)

新スキーム



3社

(2022年成約分)

ターンキー

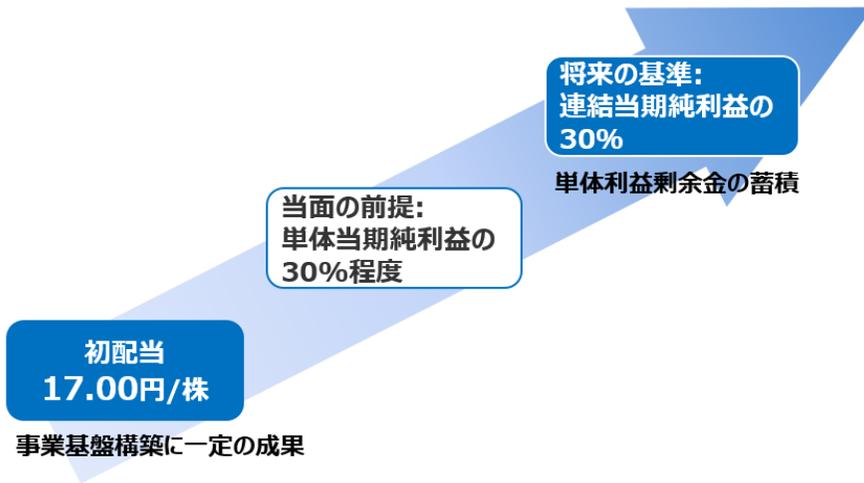


12社

(2023年2月現在)

※ターンキービジネス：同一製品について、グループ内で複数工程を受託すること

トピックス 1: 2022年12月期の振り返り (続き)



(百万円)

	2021	2022
純利益 (連結)	1,793	3,134
純利益 (単独)	525	1,668
配当/株	17.00円	54.00円
配当総額	154	491
配当性向 (連結)	8.6%	15.7%
配当性向 (単独)	29.4%	29.4%

トピックス 2: 2023年の事業環境と取組方針

1. 半導体市場

① 短期：需給調整の局面 ⇒ 年後半の回復を想定

② 中長期：基本的な成長性 ⇒ 継続

デジタル革命の進展
(5G、AI、IoT…)

新分野のニーズ拡大
(カーボンニュートラル…)

国際的な分断リスク ⇒ 新たなリスクと機会

各国の振興・支援策

サプライチェーン見直し

TPW 第3工場
(完成イメージ)

トピックス 2: 2023年の事業環境と取組方針

2. 取組方針

① 先端品取り込みと、車載比率の両立

- 成長機会の獲得
- 安定性・市況抵抗力の強化

② 中長期のビジネス機会に対応した設備投資

- TPWとのプラットフォーム共通化の継続
- 2024年以降の受け皿

TPW 第3工場 取得
約25%フロア増

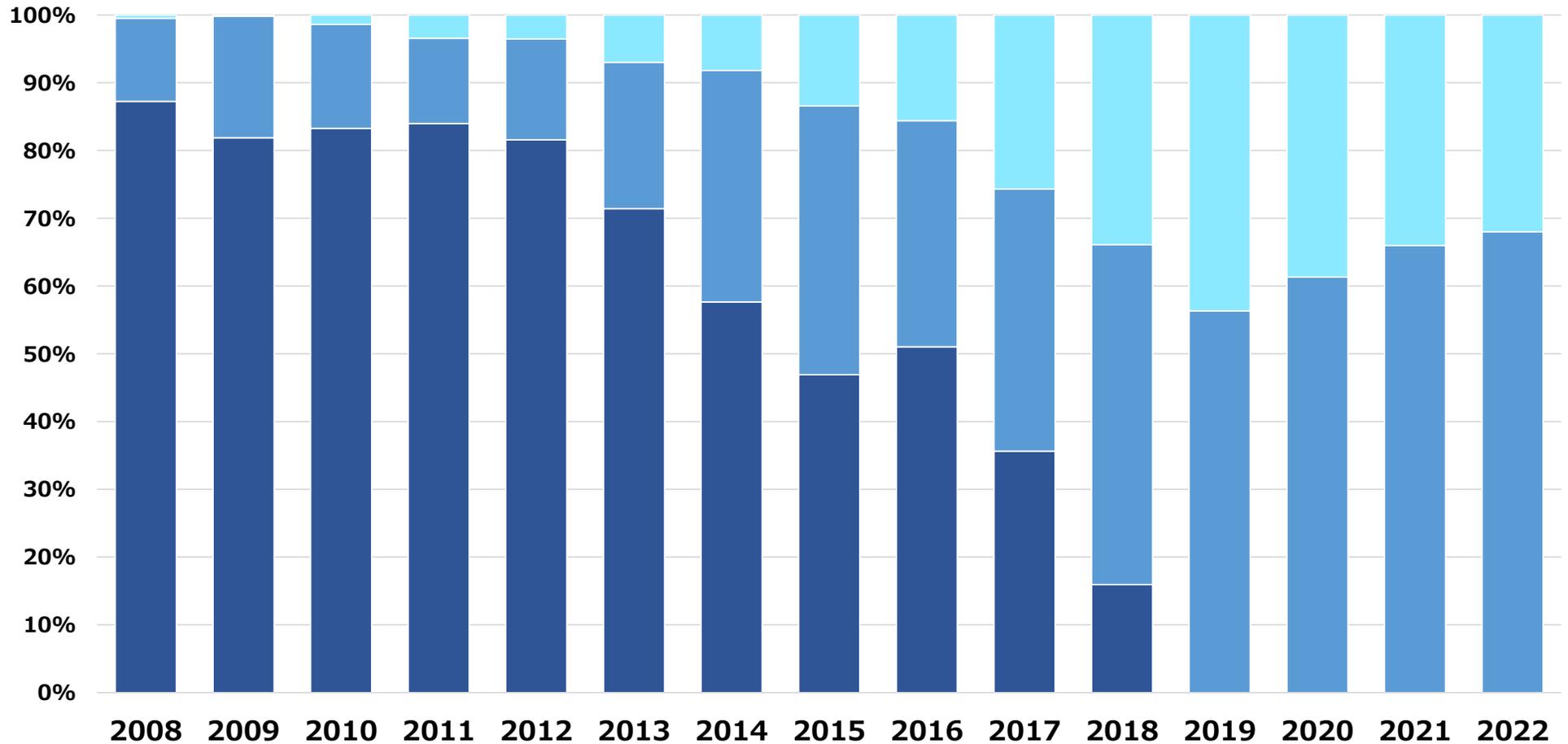
日本 クリーンルーム追加
約25%フロア増

③ PTIグループ含め、日-台 連携サービスの提供

Appendix

▶ 顧客国別 売上高構成比 (TPJ & TPA)

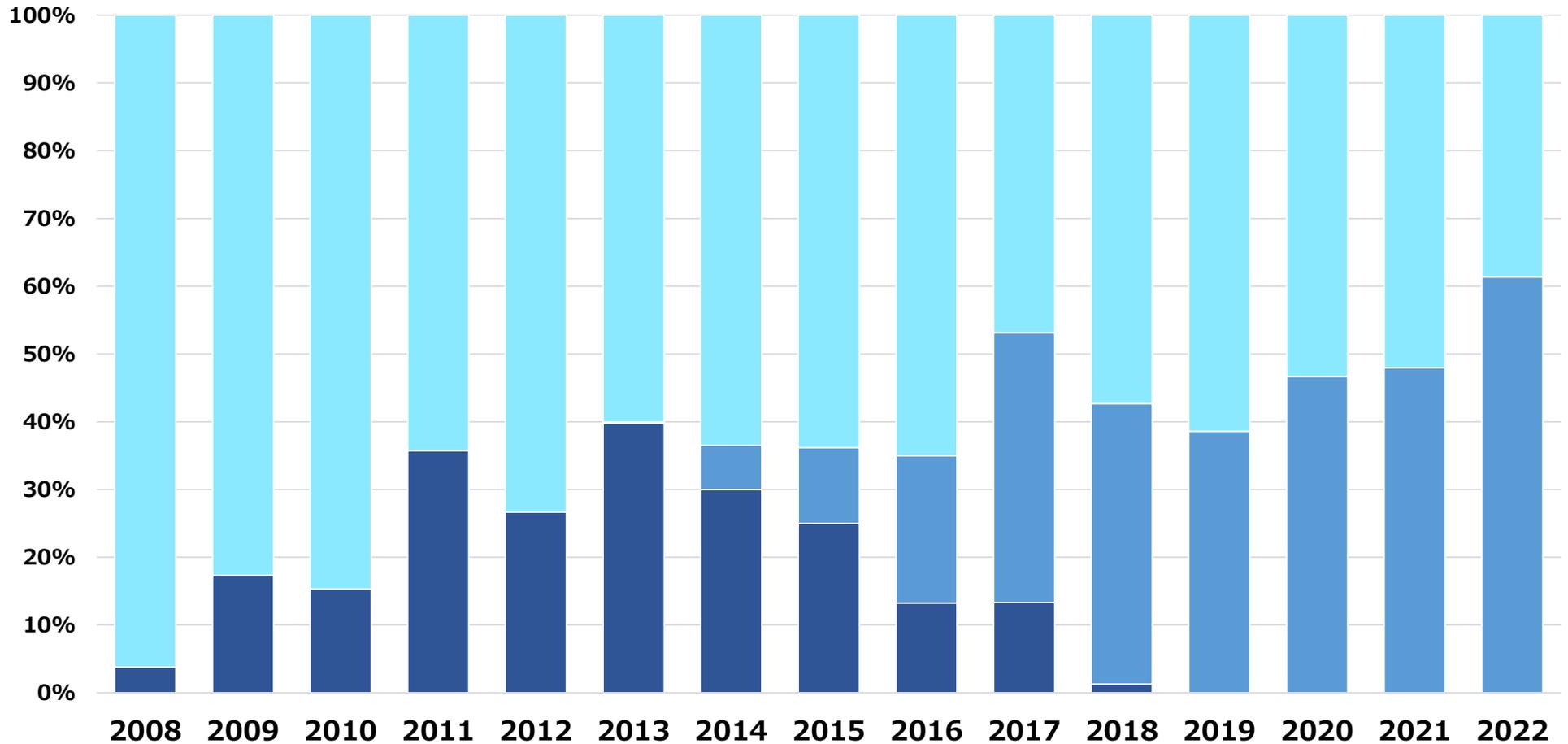
■ Micron (Elpida) ■ 日本顧客 ■ 海外顧客



TPJ: テラプローブ
TPA: テラプローブ会津

▶ 顧客国別 売上高構成比 (TPW)

■ Micron (Elpida) ■ 日本顧客 ■ 海外顧客



TPW: TeraPower Technology Inc.

▶ アプリケーション別売上高推移

(億円)

	2018	2019	2020	2021	2022
産業・医療	9.3	10.3	12.3	21.1	34.9
車載	73.5	52.5	68.8	101.6	147.1
コンシューマ	129.0	98.4	98.7	133.7	147.4
他	5.7	7.8	3.6	3.0	2.8
計	217.4	169.1	183.4	259.4	332.1

	2018	2019	2020	2021	2022
産業・医療	4%	6%	7%	8%	11%
車載	34%	31%	38%	39%	44%
コンシューマ	59%	58%	54%	52%	44%
他	3%	5%	2%	1%	1%
計	100%	100%	100%	100%	100%

本資料における注意事項等

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社テラプローブ（以下、弊社）の現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料の一部には監査法人の監査やレビューの対象外の内容が含まれております。
- 本資料に記載された内容は、発表時点において一般に認識されている経済社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず弊社が開示している資料をご覧ください。投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願い致します。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社テラプローブ 財務部

TEL: 045-476-5711

E-mail: ir@teraprobe.com

URL <https://www.teraprobe.com/>